

急報

解体業者の皆さまへ

JARP 2020.6 A-1936

エアバッグのリコール届出が行われました!! 対象エアバッグの取外回収をお願いします

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。
さて、今般 2020 年 6 月 16 日付にて以下メーカーの一部車両において、リコール届出が行われました。つきましては、以下「2.確認手順」に従い、対象車台のリコール対策済みであるかご確認頂き、対策未実施の車台は取外回収をお願いいたします。

1.対象車両

メーカー名	対象車両	部位	対策済ステッカー番号
ビー・エム・ダブリュー株式会社	平成28年7月～平成29年1月輸入の 「BMW 523d」「BMW 530i」「BMW 540i」 「BMW 740i」「BMW 740e iPerformance」 「BMW 750i」の一部車両	ヘッド エアバッグ	外-3047

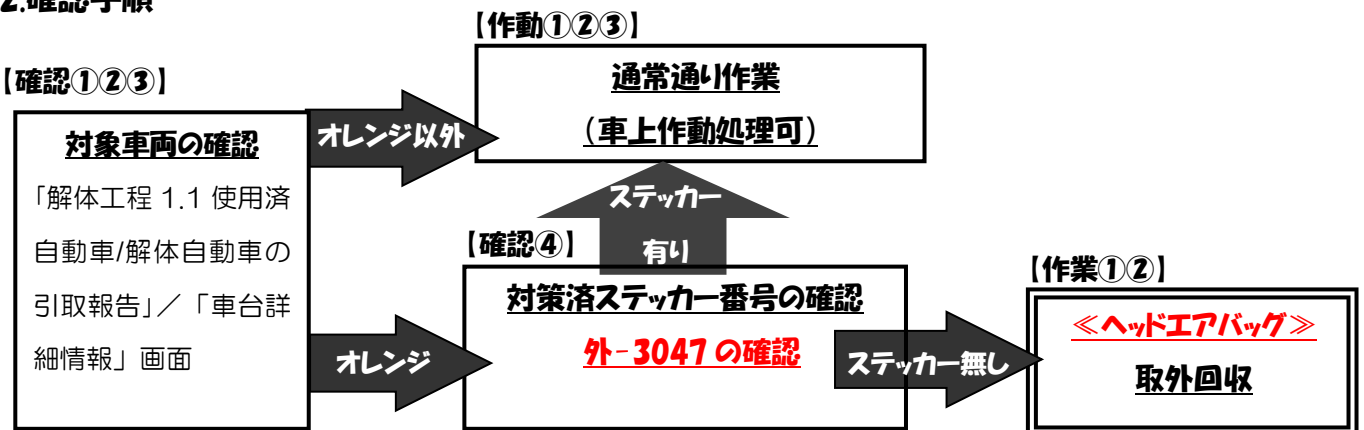
リコールの詳細内容、対象車台の範囲については、以下の HP にてご確認ください。

< 国土交通省 HP > <http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall.html> (2020/6/16)

< B M W HP > http://bmw-japan.jp/after-service/recall_landing.html (2020/6/16)

< 自再協 HP > <http://www.jarp.org/> (2020/6/18 掲載)

2.確認手順



自動車再資源化協力機構 (自再協)

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

<確認方法・移動報告画面>

【確認①】対象車両の確認

◆1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告(解体工程)

解体工程 > 使用済自動車/解体自動車引取報告 > 情報管理センターへの報告 (JPRS3100)

メニューに戻る

1. 引取実施事業者(自社)情報

事業所コード 123456789012 事業者/事業所名 詳細 ○○解体 ●●●営業所

2. 引取対象車台の一覧 ※エアバッグ類処理対象は、必ずいずれかを選択してください

該当車台は10件です

前ページ

次ページ

1 / 1 ページ

最新の一覧取得

表示件数 50件

並び替え

引渡報告日(昇順)

引渡報告日	引渡元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	※参考 加/類 装備	エアバッグ類 処理対象選択		引取報告 対象選択
						自社 処理	次業者 処理	
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	通常車台	有	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	一時停止車台	有	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	特定車台	有	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」にて、背景色が「オレンジ」で表示されている車台が、リコール対象エアバッグ類装備車両となります。

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

【確認②】対象部位の確認

◆車台詳細情報画面(解体工程)

1) リコール対象部位は背景色が「オレンジ」で表示されます

1. 車台情報	
◆車台基本情報	
類別区分番号	1001
◆リサイクル料金保証の有無	
フロントガラス	無
エアバッグ類保証	有
◆車台装備情報	
フロント乗車座クラス	乗用車等
脱フロンエアコン	無
架装物区分	01: 架装物はリサイクル料金に含まれる
◆メーカーからのお知らせ	
メッセージ	
関連するエアバッグ類装備部位	
助手席	

オレンジ表示されている車台の「詳細」から車台詳細情報を開き、リコール対象部位・対策済ステッカー番号をご確認ください。

2) リコールについての「メーカーからのお知らせ」に対策済ステッカー番号が表示されます。

【確認③】処理方法の選択の確認

◆1.10 処理方法選択画面(解体工程)

2. 処理対象車台の一覧 (主) エアバッグ類の一部を「取外回収」し一部を「車上作動処理」

該当車台は162件です

前ページ 次ページ 1 / 1 ページ

引取報告日	車台番号	型式	メーカー	処理方法	処理方法
2016/03/29	X00-X0000X	X-X00X	シャブイ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2016/03/29	X00-X0000X	X-X00X	シャブイ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2016/03/28	X00-X0000X	X-X00X	シャブイ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2014/12/23	X00-X0000X	X-X00X	シャブイ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2014/12/22	X00-X0000X	X-X00X	シャブイ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2013/05/16	X00-X0000X	X-X00X	シャブイ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【車上作動契約がある場合】リコール対象部位を取外・それ以外の部位を作動している場合、「取外」「作動」の両方にチェックをして処理選択してください

間違いなく処理選択されているか必ずご確認ください。

なお、「1.11 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」「1.13 エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告」でもオレンジ表示が確認できます。

【参考1】オレンジ表示確認画面範囲

解体業者の方で、引取業とフロン類回収業を兼任されている事業所は、引取工程の引渡報告画面、フロン類回収工程の引取報告画面においても、リコール対象車台のオレンジ表記がされるようになっていきます。



自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面をご確認ください。また特別費用支払対象車両は、解体工程でオレンジ表示されているリコール対象車台となります。

【参考2】引取工程・フロン類回収工程での確認

◆引取工程の使用済自動車の引渡報告画面(解体業者兼任限定)

引取工程【1.1 フロン類回収業者への使用済自動車の引渡報告】【1.3 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン類種別	※参考17カテゴリー装備	備考情報	引渡報告対象選択
2013/04/25	SD2AT-501025	U-SD2AT	マツダ	HFC	無		<input type="checkbox"/>
2013/04/25	UCF21-004577	E-UCF21	トヨタ	HFC	有		<input checked="" type="checkbox"/>
2013/04/27	CTS1C-504						<input type="checkbox"/>
2013/04/27	JA4-19227						<input type="checkbox"/>

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

※自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。

◆フロン類回収工程(解体業者兼任限定)

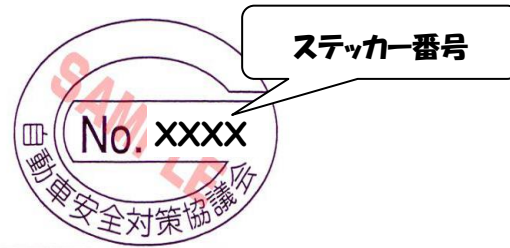
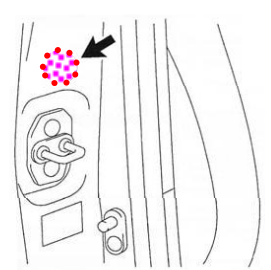
フロン類回収工程【1.1 使用済自動車の引取報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

引渡報告日	引渡元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	フロン類車種	フロン類	※参考17カテゴリー	引取報告対象選択
2013/05/13	自動車リサイクル事業所							<input type="checkbox"/>
2013/05/16	自動車リサイクル事業所							<input type="checkbox"/>
2013/05/16	自動車リサイクル事業所	X00-X00000X	X-X000X	シャブイ	乗用車等	HFC	有	<input type="checkbox"/>
2014/12/23	自動車リサイクル事業所	X00-X00000X	X-X000X	シャブイ	乗用車等	CFC	有	<input checked="" type="checkbox"/>
2016/03/14	自動車リサイクル事業所	X00-X00000X	X-X000X	シャブイ	乗用車等	CFC	有	<input checked="" type="checkbox"/>

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

【確認④】対策済ステッカー有無、ステッカー番号の確認

手順①の対象車台については、以下の内容にて確認いただき、リコール未対策の場合には、必ず取外回収を行い、作業①②に従って指定引取場所に引き渡してください。

対策済ステッカー（例）	貼付場所
<p>必ずステッカー番号を確認してください。</p>  <p>ステッカー番号</p>	<p>運転席ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼付されています。</p> 

	リコール対策済み	リコール未対策
複数枚	<p>該当する全てのステッカーを貼付</p>  <p>例① 「3456」ステッカーが貼付されている</p>	<p>該当する全てのステッカー貼付</p>  <p>例④ 「3456」ステッカーが貼付されていない</p>
1枚	<p>最新ステッカーを貼付</p>  <p>例② 「3456」ステッカーが貼付されている</p>  <p>例③ 「3456」以上(例: 3457)ステッカーが貼付されている</p>	<p>最新ステッカーを貼付</p>  <p>例⑤ 「3456」以前(例: 3455)ステッカーが貼付されている</p>
なし	<p>なし</p>	 <p>例⑥ ステッカーが貼付されていない</p>

(注) 車両によってリコール対策済ステッカーの貼付方法が異なりますのでご注意ください。

【作業①】リコール対象エアバッグの取外回収、分解

リコール対象のエアバッグを車両から取り外しインフレータの状態まで分解したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

	正しい性状	誤った性状	
	<ul style="list-style-type: none"> インフレータ状態まで分解 ハーネスを5cmほど残して切断した上で、先端の被覆をむき撚り合わせてショート 	分解不十分 (付属品がついている)	短絡不良 (ハーネスを撚り合わせてショートしていない)
運転席			
助手席			

【作業②】梱包

取外し後のインフレータは以下の要領で指定引取場所に引き渡してください。

通常通り、回収袋に収納し、「全桁の車台番号（※）」を書いた荷札を付けてください。

その際、荷札の車台番号を赤マジックで囲んでください。

(※) 指定引取場所等での車両特定の為、車台番号の全桁記入をお願いします。



誤作動防止の為、
ハーネスは必ず
ショートさせて
ください。

万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

補足

-- 車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします --

作動 1. リコール対象外のエアバッグ類を車上作動処理し、実績を記録してください。

- ☞ リコール対象のエアバッグを取外した後も一括作動処理が可能です。
- ☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。

《安全作業の一例》

① ドアを開け、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止

② 通電時の距離(5m以上)を確保するとともに遮蔽物を設置。作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。

③ 通電時のヘルメット着用

④ 通電時の周囲への声かけ。車台の周囲に人がいないことを確認してください。



※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください

- ☞ また、車上作動処理実施の際、インフレーター等が破断し部品が車外に飛散する事象が稀に発生している為、従来の安全作業に加え、以下の対策実施を推奨します。

Ⓐ ハンドル位置を下げ、運転席のヘッドレストを最下部まで下げ、シートを前方に引き出すとともに前に倒す。

ハンドルの向きを下げ、シートを前に倒す事で、運転席側のインフレーター等の車外への飛散を抑えることを期待。



Ⓑ フロントガラスに毛布を置き、その上にカバーをかける

毛布をかけた上に更にカバーをかける事で、飛散防止効果を期待。



Ⓒ ボンネットを開ける

ボンネットを開けた状態で通電することで、インフレーター等の車外前方への飛散を防ぐことを期待。(ポップアップボンネット付車台を除く)



- ☞ 車上作動処理実施後、速やかに処理結果を管理台帳に記入してください。
(備考欄に「リコール対象部位(例：助手席)は取外回収」と記入)

エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳		2010年10月度 1頁		解体業者名:〇〇解体△△工場					
① 事務所管理欄(1)		② 作業場管理欄		③ 事務所管理欄(2)					
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車引渡先	解体自動車 引渡日	備考
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3				助手席(リコール)は取外回収
2									
3									
4									

作動処理した個数を記入

例：助手席を取外回収した旨を記入

作動 2. 自動車リサイクルシステムへの入力

- ☞ 「一部取外回収・一部車上作動処理」で引渡報告します。

①〔解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択〕

②〔解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告〕 回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。

1.8	引渡報告	非認定全部利用者への解体自動車の引渡報告
1.9	引渡先確定済車台の一覧	※非認定全部利用者：メーカ
1.10	エアバッグ類処理方法の選択	エアバッグ類処理方法の選択
1.11	引渡報告	エアバッグ類(取外回収)の引渡報告
1.12	引渡先確定済荷姿の一覧	
1.13	引渡報告	エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告

「回収」と「作動」
の両方にチェック
します。

回収	作動
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、
「車上作動処理」での引渡報告は必要ありません。

作動 3. 管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

- ☞ 引渡報告が完了したら、管理台帳の
「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。

エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳		2010年10月度 1頁		解体業者名:〇〇解体△△工場					
① 事務所管理欄(1)		② 作業場管理欄		③ 事務所管理欄(2)					
No.	車台番号	車名	作動処理 実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	確認者	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車 引渡日	備考
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3	環境太郎	11/1	10/3	助手席(リコール)は取外回収
2			/					/	
3			/					/	
4			/					/	

取外回収で引渡報告
した日を記入

参考

ビー・エム・ダブリュー株式会社 ヘッドエアバッグ リコール対象車両一覧

BMW 523d/530i/540i



BMW 740i/740e/750i



表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面のオレンジ表示および車台の「対策済ステッカー:外-3047」の有無をご確認ください。

ヘッドエアバッグ

※国土交通省HPリコール届出より引用

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
BMW	LDA-JC20	「BMW 523d」	WBAJC32090G466704 ~ WBAJC32010G864120 平成 28 年 11 月 11 日 ~ 平成 29 年 1 月 27 日	20 台	
	DBA-JA20	「BMW 530i」	WBAJA52090G454683 ~ WBAJA52060G454737 平成 28 年 11 月 7 日 ~ 平成 28 年 11 月 9 日	9 台	
	DBA-JB30	「BMW 540i」	WBAJB320X0G459635 平成 28 年 11 月 11 日	1 台	
	DBA-7A30	「BMW 740i」	WBA7A220X0G764625 ~ WBA7A22090G764809 平成 28 年 7 月 8 日 ~ 平成 28 年 9 月 22 日	98 台	
	DLA-7D20	「BMW 740e iPerformance」	WBA7D02090G509802 ~ WBA7D02000G510112 平成 28 年 7 月 26 日 ~ 平成 28 年 10 月 7 日	125 台	
	CBA-7A44	「BMW 750i」	WBA7A81070GJ35179 ~ WBA7A81070GJ44898 平成 28 年 7 月 12 日 ~ 平成 28 年 9 月 21 日	24 台	
			WBA7A82090G244127 ~ WBA7A82080G244362 平成 28 年 7 月 12 日 ~ 平成 28 年 12 月 6 日	32 台	
6 型式	6 車種	(製作期間の全体の範囲) 平成 28 年 7 月 8 日 ~ 平成 29 年 1 月 27 日	(計 309 台)		

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。